

# 新宿区次世代育成支援に関する調査報告書 概要版



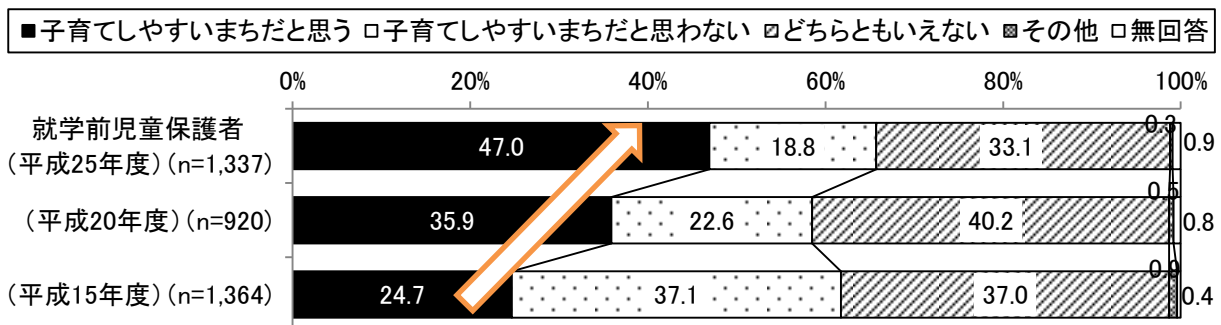
©MPC

平成 26 年 3 月  
新宿区

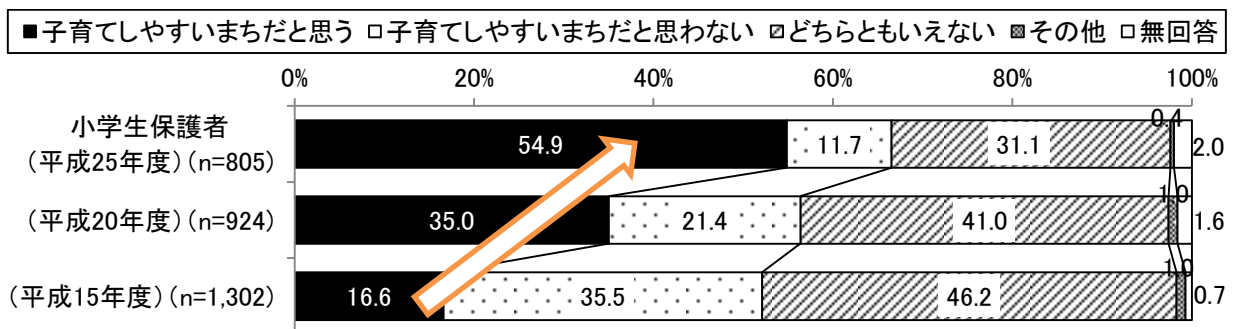
# 新宿区を子育てしやすいまちだと思える人が増えました！

◆新宿区が「子育てしやすいまちだと思える」人が、就学前児童保護者、小学生保護者ともに増えました。その理由として、「交通機関が便利」という都心居住の良さとともに、保育園、子ども園、幼稚園、小学校等の子育て環境が充実していることが挙げられています。

図表 1 新宿区の子育て環境評価（就学前児童保護者）＜経年比較＞



図表 2 新宿区の子育て環境評価（小学生保護者）＜経年比較＞



【子育てしやすいまちだと思える理由（上位5位）】

	就学前児童保護者 (n=628)	小学生保護者 (n=442)
1	交通機関が便利である 360 人	交通機関が便利である 265 人
2	保育園、子ども園、幼稚園などが利用しやすい 215 人	小学校、保育園、子ども園、幼稚園などが利用しやすい 211 人
3	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 215 人	住環境が良い 143 人
4	住環境が良い 184 人	職場と住居が近い 93 人
5	保育サービスが充実している 154 人	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 91 人

◆新宿区次世代育成支援計画では、「子育てしやすいまち」だと思える人の割合を増やすことを目標としています。今回の調査結果では目標値を上回り、目標を達成することができました。

	平成 15 年度 調査結果	平成 20 年度 調査結果	目標値	今回 調査結果
就学前児童保護者	24.7%	35.9%	(45%)	47.0%
小学生保護者	16.6%	35.0%	(45%)	54.9%

## ◆調査概要

### ■調査設計

標本抽出	住民基本台帳から年齢別に無作為抽出
調査方法	郵送配布－郵送回収法
調査期間	①就学前児童保護者及び小学生保護者・・・8月1日～8月23日 ②中学生保護者、中学生本人、青少年、若者・・・9月26日～10月16日

### ■調査対象（平成 25 年 4 月 1 日現在）

1 新宿区次世代育成支援に関する調査 （就学前児童保護者）	区内在住の就学前児童の保護者
2 新宿区次世代育成支援に関する調査 （小学生保護者調査）	区内在住の小学校 1 年生から小学校 6 年生の保護者
3 新宿区次世代育成支援に関する調査 （中学生の保護者調査）	区内在住の中学校 1 年生から中学校 3 年生の保護者
4 中学生の日常生活と意識に関する調査	区内在住の中学校 1 年生から中学校 3 年生
5 青少年の日常生活と意識に関する調査	区内在住の15歳から17歳までの男女
6 若者の意識調査	区内在住の18歳から39歳までの男女

### ■回収状況

	対象者数	有効回収数	有効回収率
1 新宿区次世代育成支援に関する調査 （就学前児童保護者）	2,500	1,337	53.5%
2 新宿区次世代育成支援に関する調査 （小学生保護者調査）	1,500	805	53.7%
3 新宿区次世代育成支援に関する調査 （中学生の保護者調査）	300	152	50.7%
4 中学生の日常生活と意識に関する調査	300	120	40.0%
5 青少年の日常生活と意識に関する調査	300	93	31.0%
6 若者の意識調査	1,500	267	17.8%
合計	6,400	2,774	43.3%

## ◆報告書の見方

- 1 図表の中のnとは該当質問の回答者数を表しています。
- 2 本文、図表中の百分率（%）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100%にならない場合があります。
- 3 図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合があります。

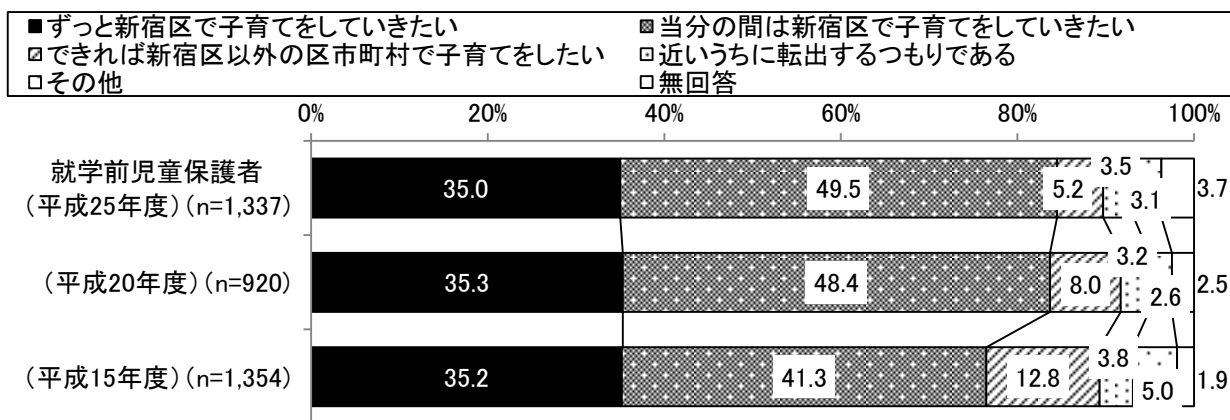
# 就学前児童保護者、小学生保護者、中学生保護者の調査結果

## 1 新宿区での子育て継続意向

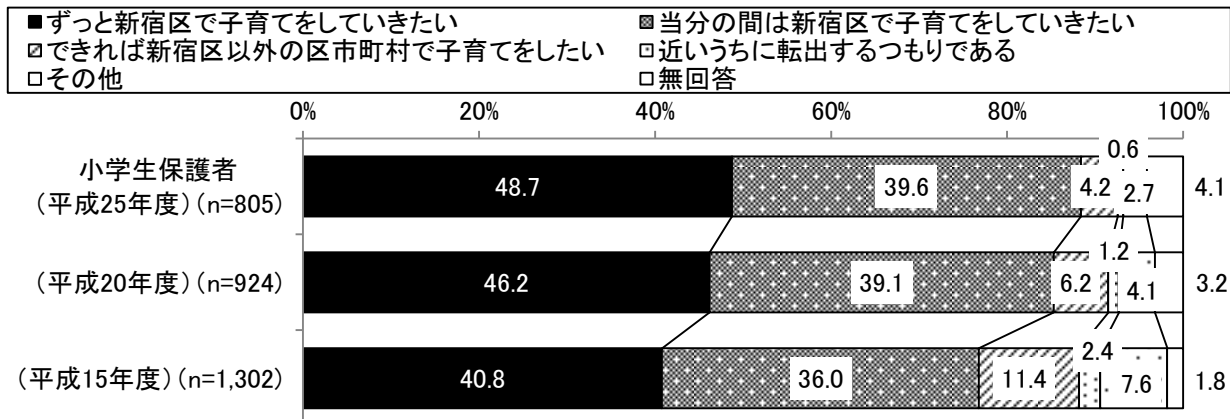
<就学前・小学生・中学生保護者>

- ◆ 新宿区での子育て継続意向を尋ねたところ、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」は就学前児童保護者で35.0%、小学生保護者で48.7%、中学生保護者で55.9%となっています。
- ◆ また、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」を合わせた『新宿区で子育てをしていきたい』は就学前児童保護者、小学生保護者、中学生保護者いずれも前回、前々回調査よりも多くなっています。

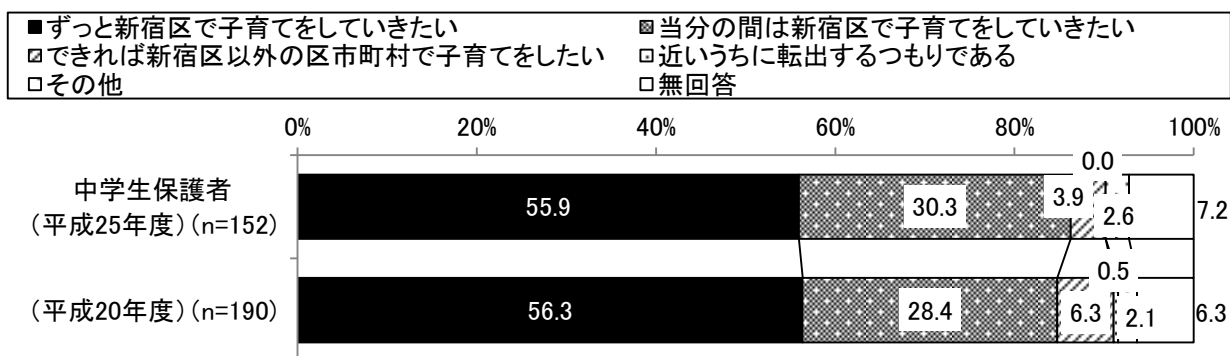
図表 3 新宿区での子育て継続意向（就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者）<経年比較>



図表 4 新宿区での子育て継続意向（小学生保護者）<経年比較>

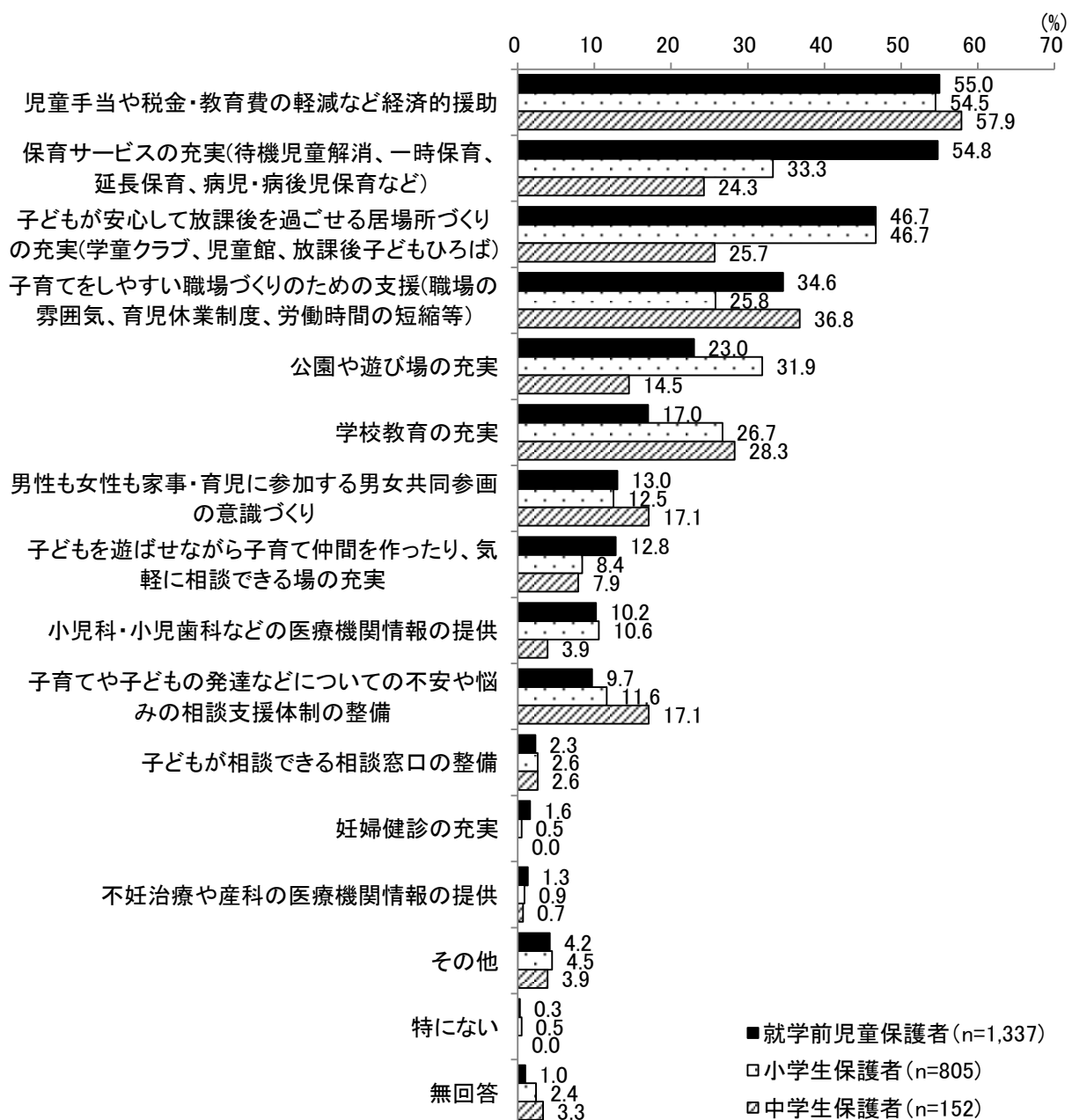


図表 5 新宿区での子育て継続意向（中学生保護者）<経年比較>



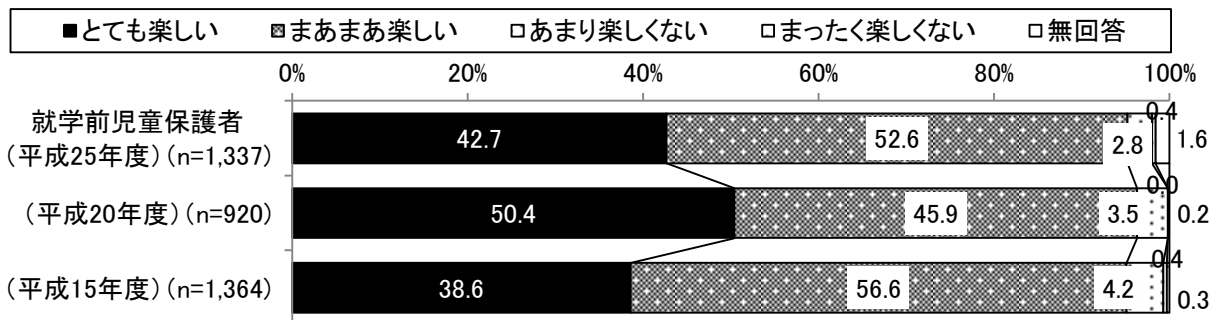
- ◆ 子どもを育てやすい社会に必要なことは、就学前児童保護者、小学生保護者、中学生保護者すべてで「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が50%台と最も多くなっています。
- ◆ 次いで、就学前児童保護者では「保育サービスの充実(待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など)」(54.8%)、小学生保護者では「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくりの充実(学童クラブ、児童館、放課後子どもひろば)」(46.7%)、中学生保護者では「子育てをしやすい職場づくりのための支援(職場の雰囲気、育児休業制度、労働時間の短縮等)」(36.8%)となっています。

図表 6 子どもを育てやすい社会に必要なこと（就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者）

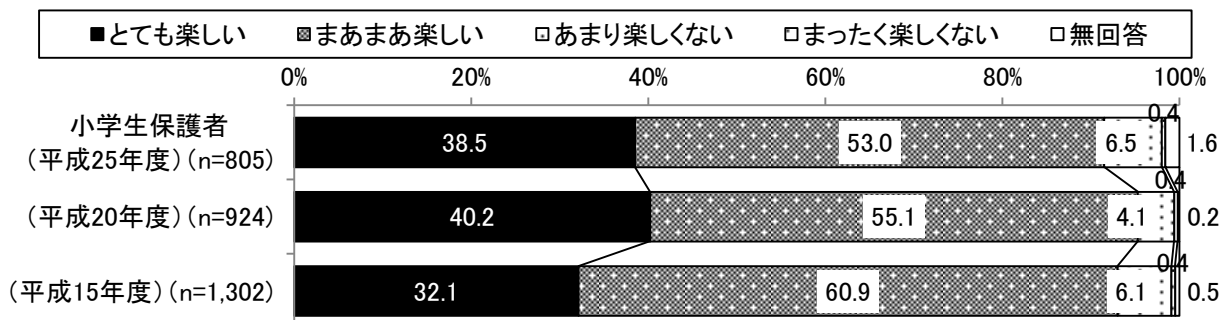


- ◆ 子育てを「とても楽しい」又は「まあまあ楽しい」と思っている保護者は、就学前児童では95.3%、小学生及び中学生では91.5%となっています。中学生保護者では、「とても楽しい」が前回調査と比較して増えています。

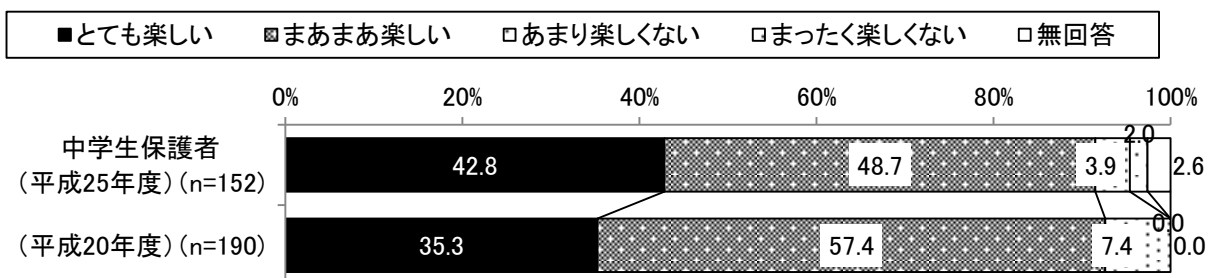
図表 7 子育ての楽しさ（就学前児童保護者）＜経年比較＞



図表 8 子育ての楽しさ（小学生保護者）＜経年比較＞

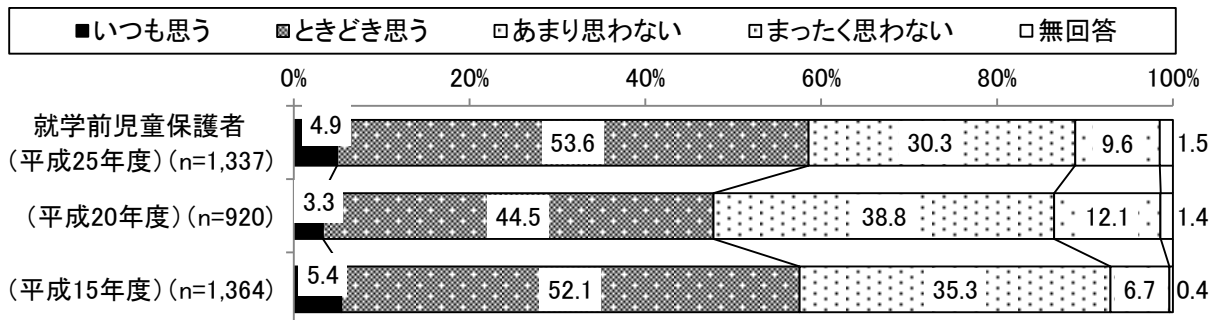


図表 9 子育ての楽しさ（中学生保護者）＜経年比較＞

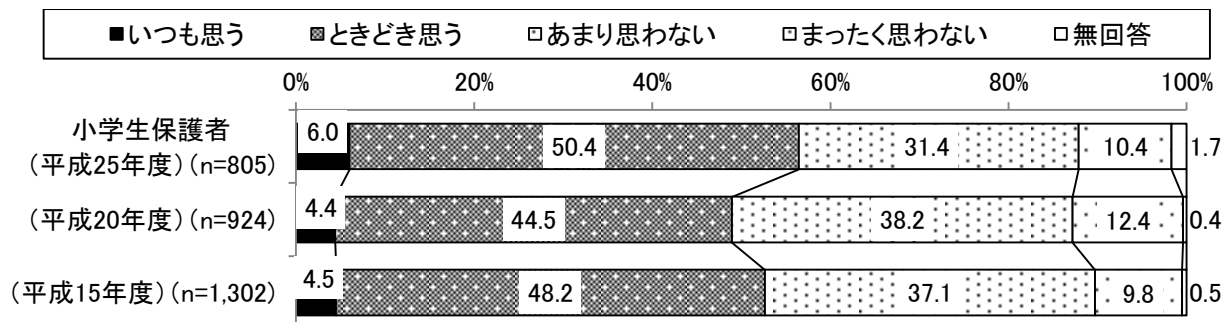


- ◆ 子育てが「いつも思う」又は「ときどき思う」保護者は、就学前児童では58.5%、小学生では56.4%、中学生では44.7%となっています。
- ◆ また、子育てのつらさを母親の就労状況別にみると、就労していない母親の方が、子育てが「いつも思う」と「ときどき思う」ことが多くなっています。

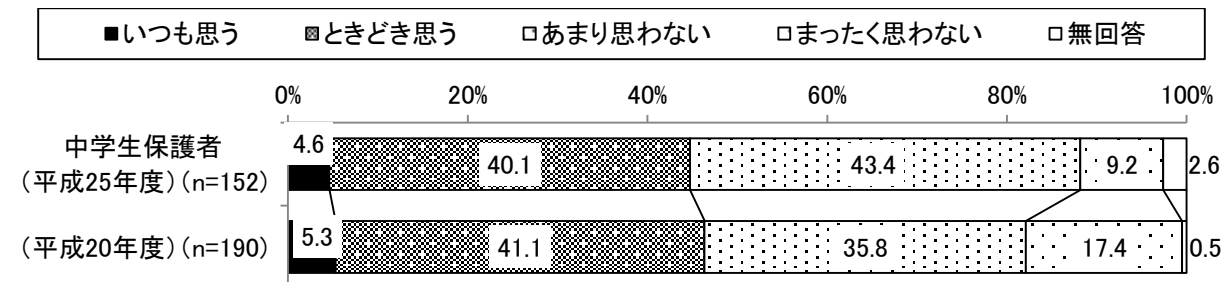
図表 10 子育てのつらさ（就学前児童保護者）＜経年比較＞



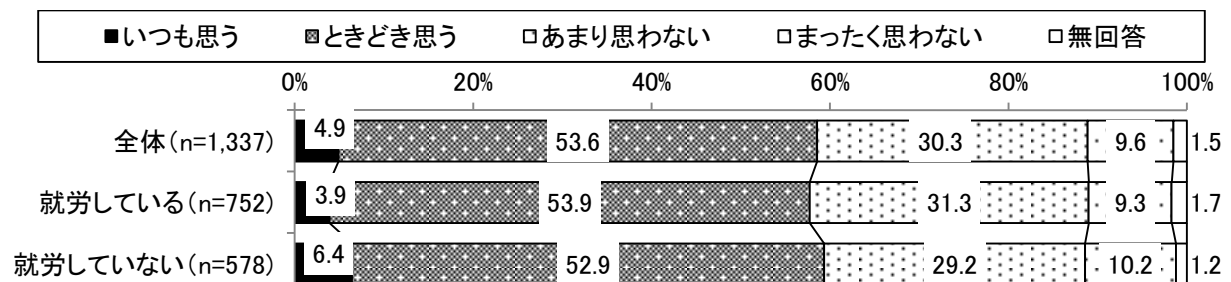
図表 11 子育てのつらさ（小学生保護者）＜経年比較＞



図表 12 子育てのつらさ（中学生保護者）＜経年比較＞

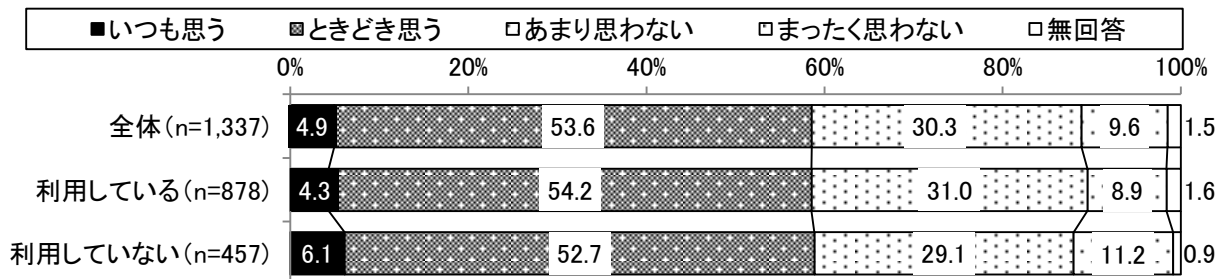


図表 13 子育てのつらさ（母親の就労状況別）（就学前児童保護者）



- ◆ 子育てのつらさを平日定期的にご利用している保育・教育サービスの有無別にみると、保育・教育サービスを利用していない人は子育てがつらいと「いつも思う」割合が、利用している人に比べて多くなっています。

図表 14 子育てのつらさ（平日定期的にご利用している保育・教育サービスの有無別）（就学前児童保護者）



- ◆ 子育てに関する悩みを子育てのつらさ別に見てみると、子育てがつらいと「いつも思う」「ときどき思う」人は、「子どもの遊ばせ方や、しつけについて」「仕事や自分のことが十分にできないこと」が多くなっています。そのほか、子育てがつらいと「いつも思う」人は、「緊急時に子どもを見てくれる人がいないこと」「子育てが精神的な負担になっていること」も、他の項目と比較して多くなっています。

図表 15 子育てに関する悩み（子育てのつらさ別）（就学前児童保護者）

		回答者数	子どもの遊ばせ方や、しつけについて	仕事や自分のことが十分にできないこと	子どもの食事や栄養について	緊急時に子どもを見てくれる人がいないこと	子どもとの時間が十分にとれないこと	子どもの発達について	子育てに自信が持てないこと	子どもの病気について	子育てで配偶者と意見があわないこと	(%)
全体		1,337	46.9	33.4	28.1	27.2	22.5	14.8	14.1	11.7	8.0	
思っ つ子 うら 育こ いて とと が	いつも思う	66	71.2	60.6	31.8	43.9	22.7	21.2	36.4	12.1	22.7	
	ときどき思う	717	57.2	43.4	34.2	29.8	24.5	19.2	19.8	15.5	9.3	
	あまり思わない	405	35.8	19.5	20.5	23.5	21.7	8.9	4.2	6.7	4.9	
	まったく思わない	129	19.4	12.4	20.9	19.4	17.1	7.8	3.9	7.8	3.9	
		回答者数	子育てが精神的な負担になっていること	子育て仲間がいないこと	保育情報や地域の子育て情報が得にくいこと	子育てについて、まわりからどのように思われているのか気になること	子どもへの接し方がわからないこと	専門的な相談先がわからないこと	その他	特に悩んでいることはない	無回答	
全体		1,337	7.9	7.6	7.3	6.0	5.1	3.9	5.5	13.6	2.2	
思っ つ子 うら 育こ いて とと が	いつも思う	66	54.5	12.1	7.6	18.2	15.2	3.0	7.6	0.0	1.5	
	ときどき思う	717	9.6	9.5	8.9	7.8	7.0	5.2	5.2	6.0	0.8	
	あまり思わない	405	0.2	4.0	5.4	2.5	1.7	2.5	5.7	22.7	0.2	
	まったく思わない	129	0.0	7.0	5.4	1.6	0.8	2.3	6.2	35.7	1.6	

(注) 網がけは40%以上のもの

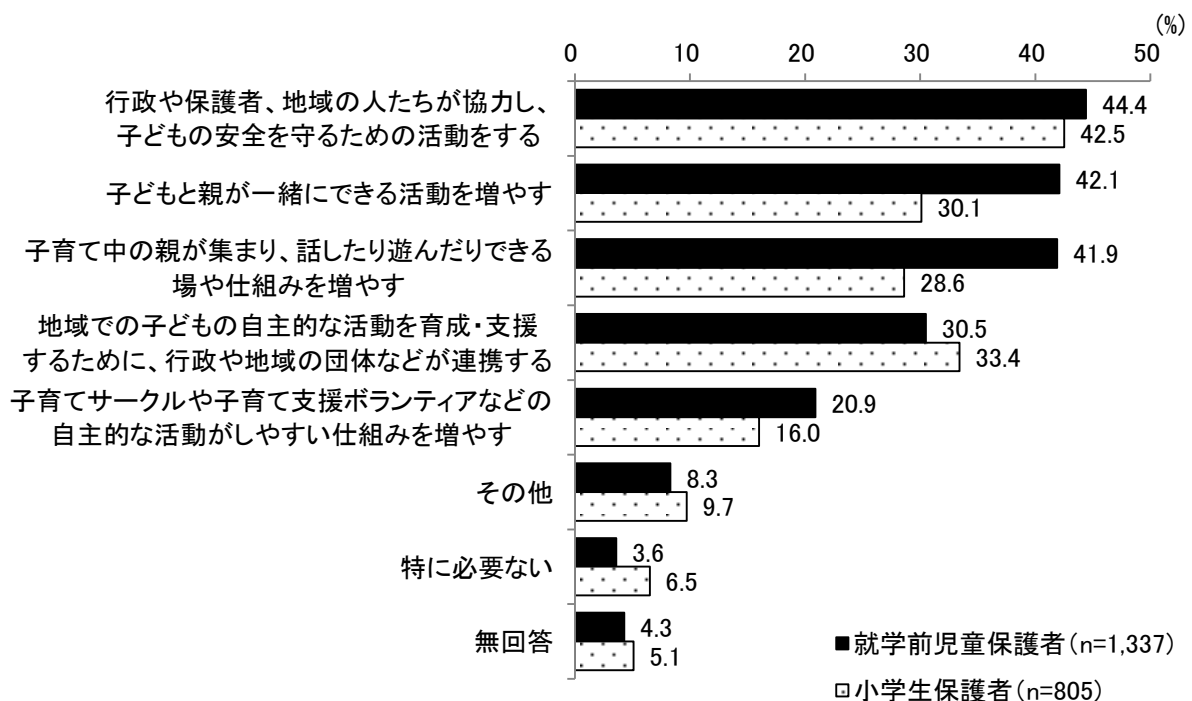
(注) 「子育てに関して悩んでいること」は複数回答である

(注) 上部分の項目(表頭: 分析の対象となる質問項目)、表の左側部分の項目(表側: 分析の軸)で構成している



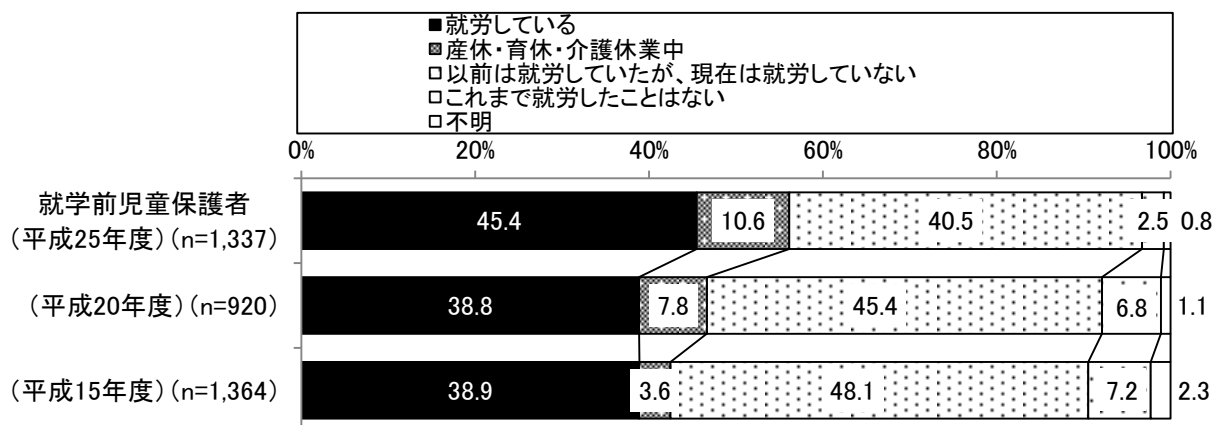
- ◆ 安心して子育てするために地域で必要だと思う取組みは、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「行政や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全を守るための活動をする」が最も多くなっています。
- ◆ 就学前児童保護者では、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」(42.1%)、「子育て中の親が集まり、話したり遊んだりできる場や仕組みを増やす」(41.9%)となっています。
- ◆ 小学生保護者では、次いで「地域での子どもの自主的な活動を育成・支援するために、行政や地域の団体などが連携する」(33.4%)「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」(30.1%)となっています。

図表 16 安心して子育てするために地域で必要だと思う取組み（就学前児童保護者・小学生保護者）

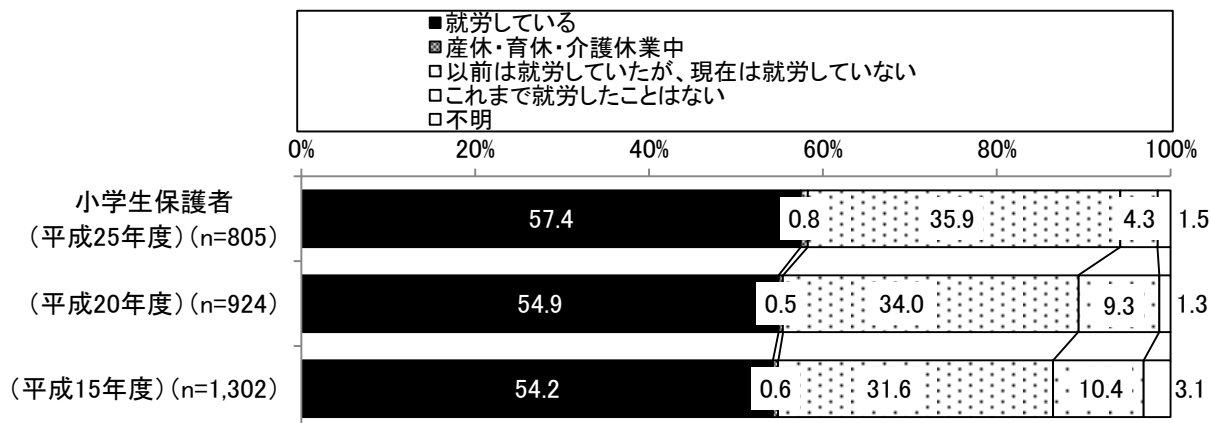


- ◆ 就労状況についてみると、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「就労している」が最も多くなっています。就労している割合は、就学前児童保護者、小学生保護者ともに前回、前々回調査と比較して多くなっています。

図表 17 就労状況（就学前児童保護者）



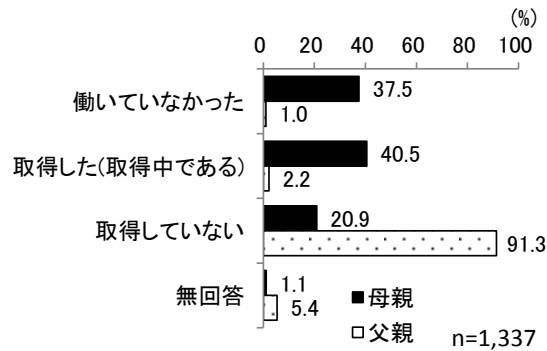
図表 18 就労状況（小学生保護者）



(注) 平成15年度、平成20年度調査は「主に子どもの世話をしている保護者の就労状況」。今回調査は母親の就労状況。

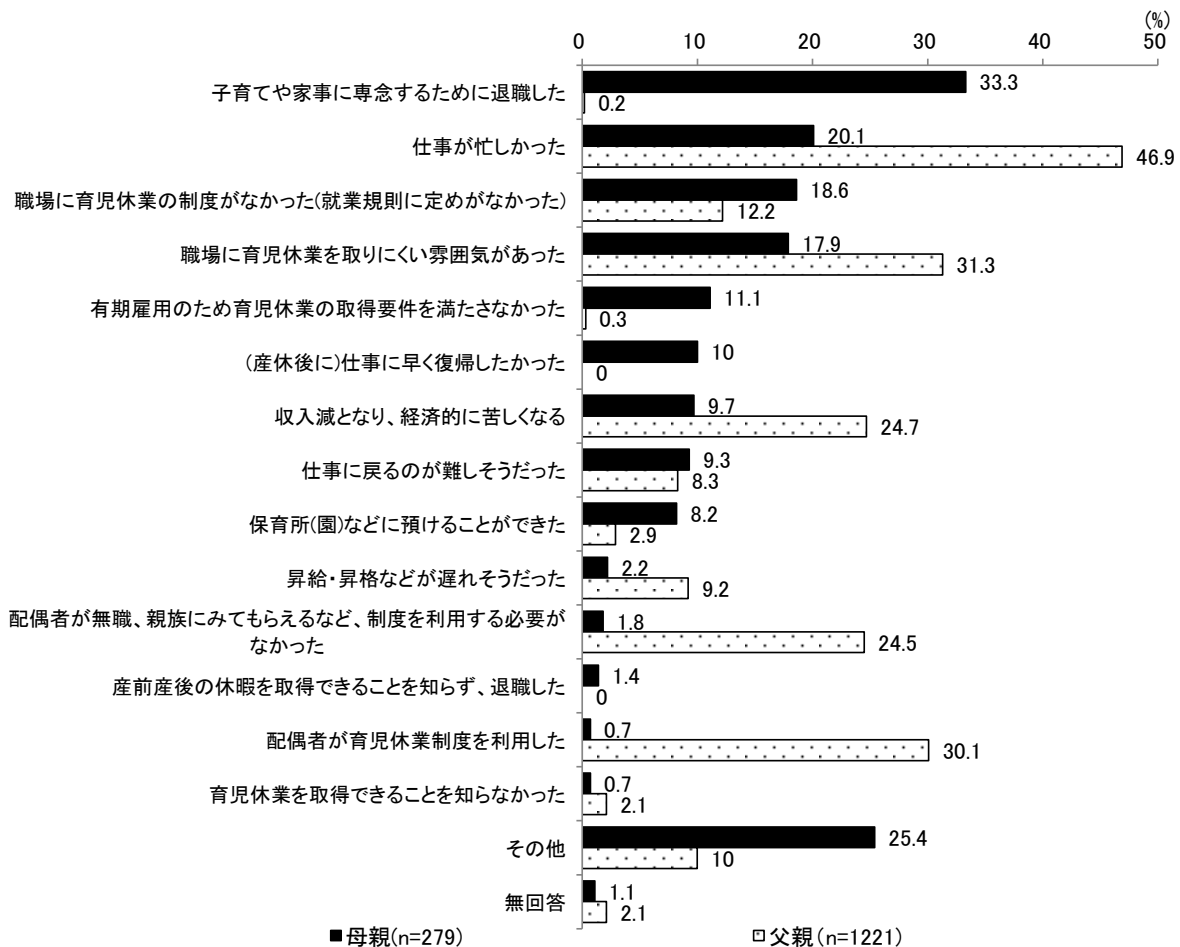
- ◆ 育児休業取得状況は、就学前児童保護者の母親では「取得した（取得中である）」が最も多くなっています。また、父親については、「取得していない」が最も多くなっています。

図表 19 育児休業取得状況（就学前児童保護者）



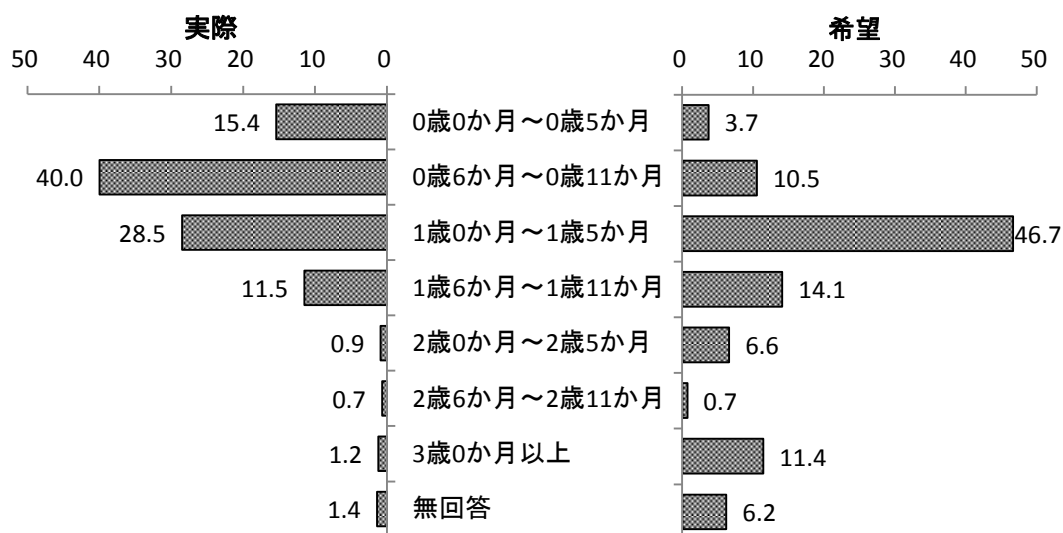
- ◆ 育児休業を取得していない理由は、母親については「子育てや家事に専念するために退職した」が最も多くなっています。また、父親については、「仕事が忙しかった」が最も多くなっています。

図表 20 育児休業を取得していない理由（就学前児童保護者）



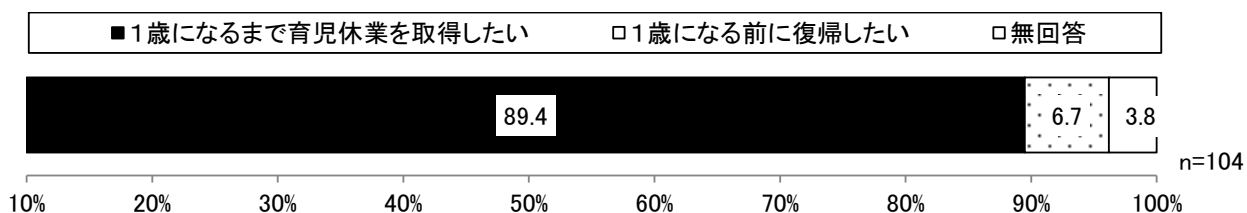
- ◆ 育児休業から復帰した時期のうち、実際の時期は「0歳6か月～0歳11か月」が最も多くなっていますが、希望の時期は「1歳0か月～1歳5か月」が最も多くなっています。

図表 21 育児休業から復帰した実際の時期と希望の時期（就学前児童保護者）



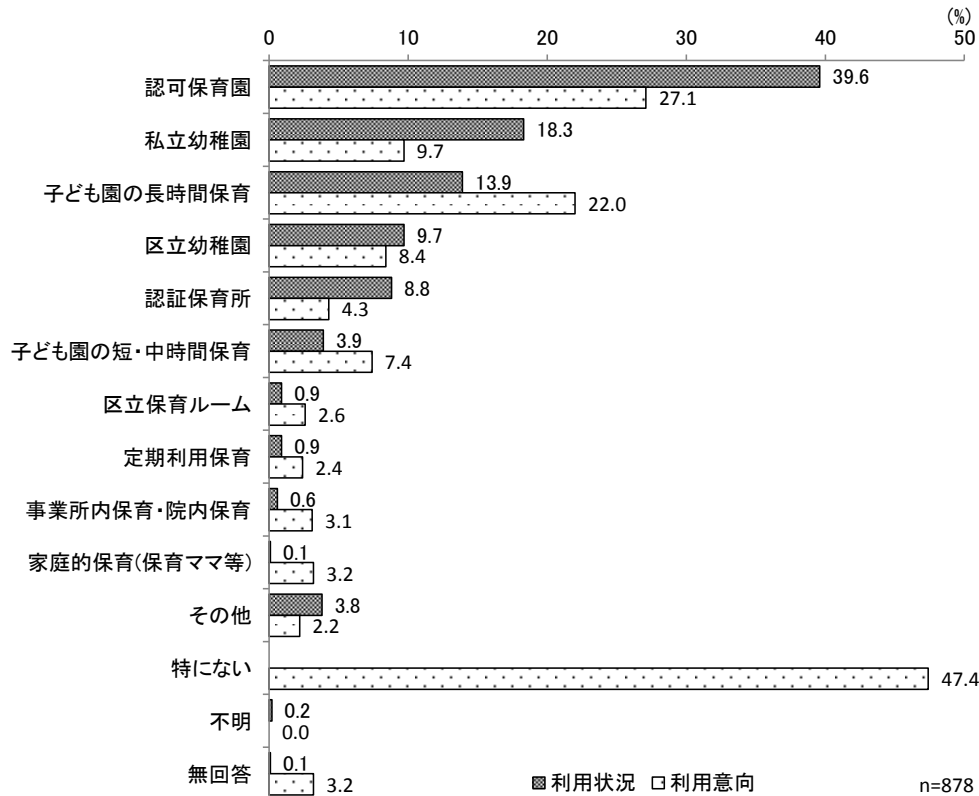
- ◆ 必ず利用できる保育・教育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が89.4%と最も多く、次いで「1歳になる前に復帰したい」6.7%となっています。

図表 22 1歳になるまで育児休業を取得するか（就学前児童保護者）



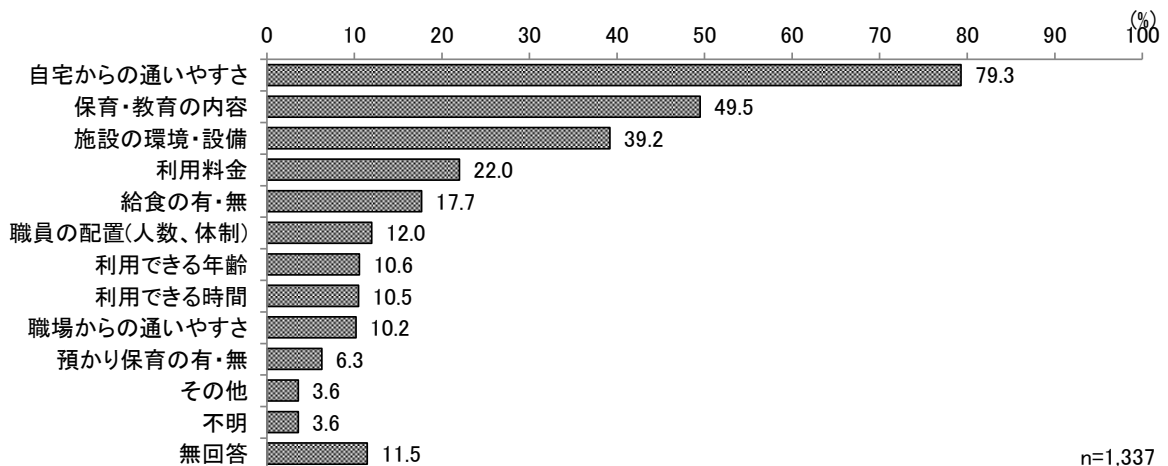
- ◆ 就学前児童保護者の定期的な保育・教育事業利用状況は、「認可保育園」が39.6%で最も多く、次いで「私立幼稚園」(18.3%)、「子ども園の長時間保育」(13.9%)となっています。
- ◆ 利用意向は、「認可保育園」(27.1%)が最も多く、次いで「子ども園の長時間保育」(22.0%)、「私立幼稚園」(9.7%)となっています。

図表 23 保育・教育事業利用状況及び利用意向（就学前児童保護者）



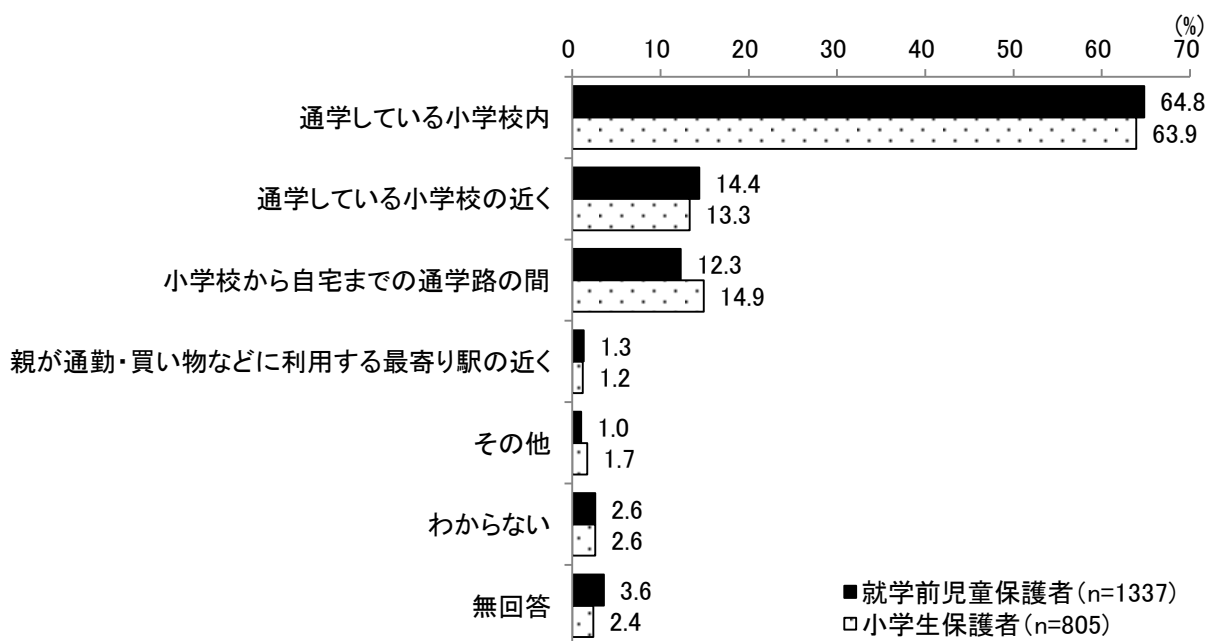
- ◆ 利用する事業を選択する際に考慮する点については、「自宅からの通いやすさ」が79.3%と最も多く、次いで「保育・教育の内容」49.5%、「施設的环境・設備」39.2%となっています。

図表 24 事業を選択する際に考慮する点（一番目～三番目の合計）（就学前児童保護者）

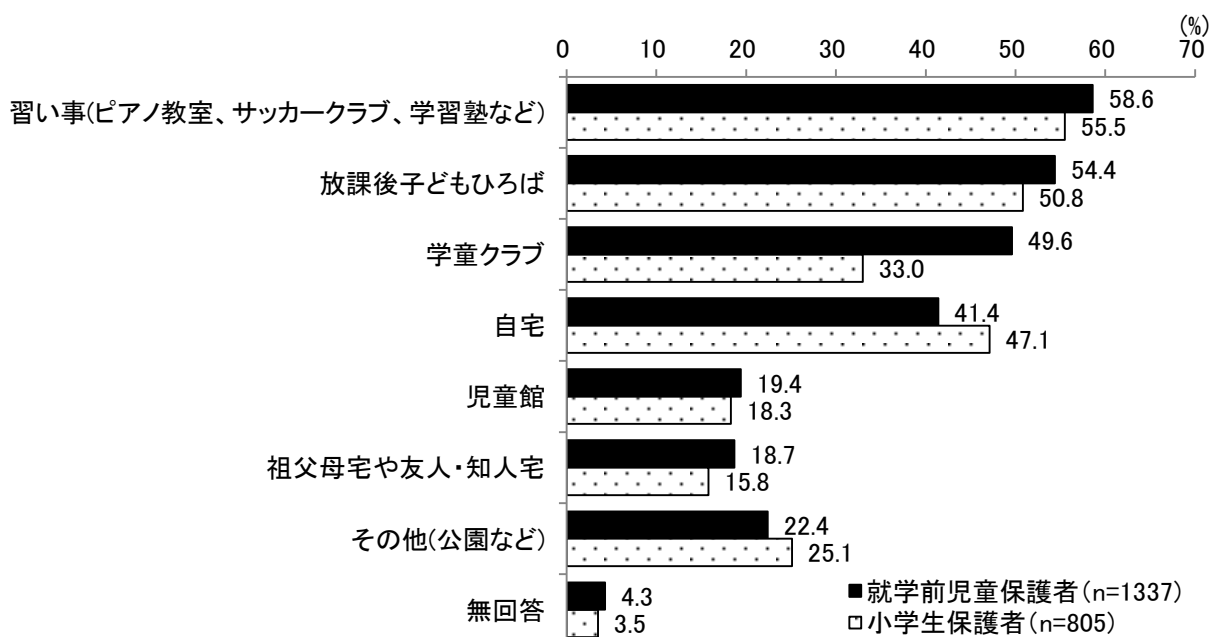


- ◆ 放課後の居場所の希望は、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「通学している小学校内」が最も多くなっています。
- ◆ 小学生で放課後を過ごさせたい居場所としては、低学年及び高学年ともに「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が最も多くなっています。また、「放課後子どもひろば」については、低学年で5割を超える方が希望しています。

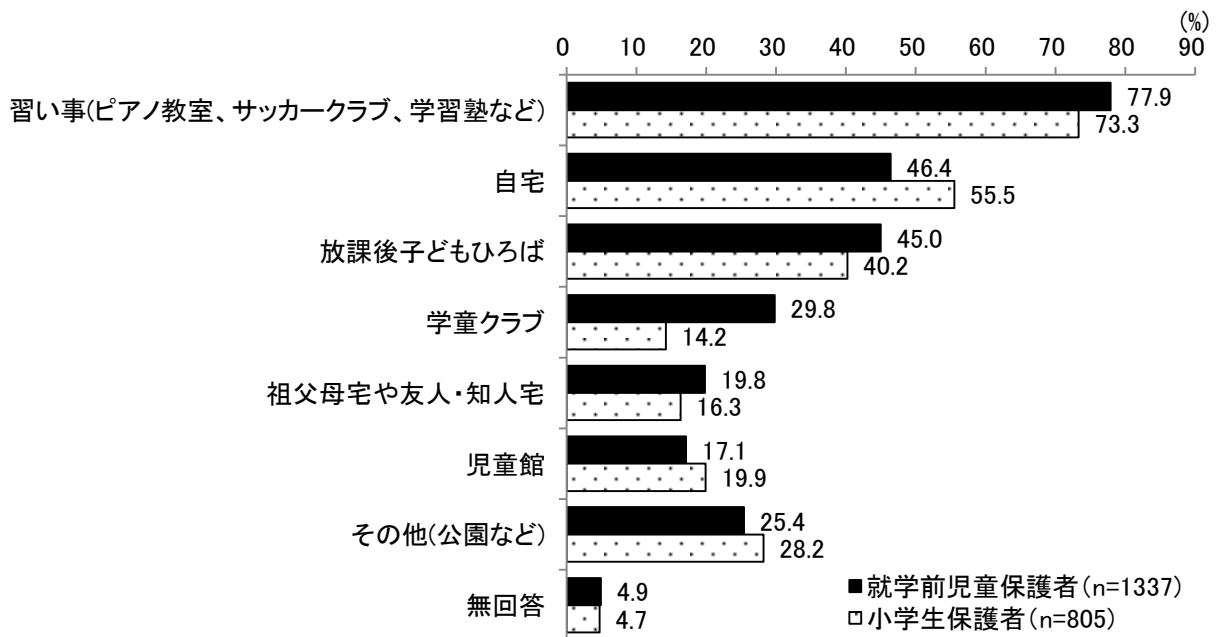
図表 25 放課後の居場所の希望（就学前児童保護者・小学生保護者）



図表 26 放課後を過ごさせたい場所（低学年）（就学前児童保護者・小学生保護者）

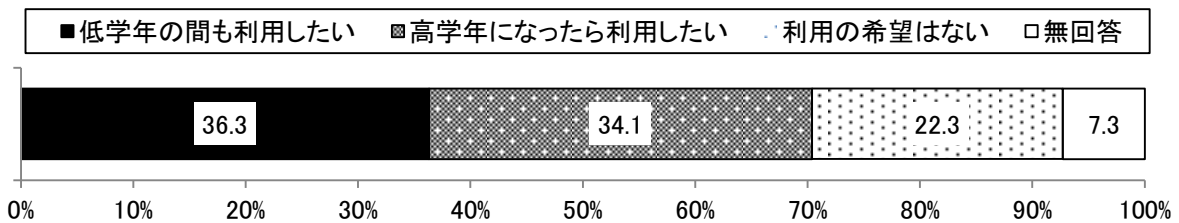


図表 27 放課後を過ごさせたい場所（高学年）（就学前児童保護者・小学生保護者）



- ◆ 放課後子どもひろばの利用時間が学童クラブと同等に拡大された場合の利用希望については、「低学年の間も利用したい」が最も多く、次いで「高学年になったら利用したい」となっています。一方で、「利用の希望はない」が22.3%となっています。

図表 28 放課後子どもひろばの利用時間が学童クラブと同等に拡大された場合の利用希望（就学前児童保護者）



# 中学生本人、青少年、中学生保護者の調査結果

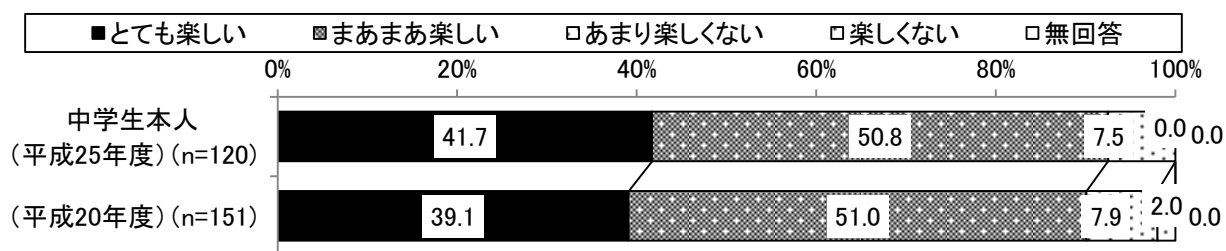
1

## 毎日の楽しさ

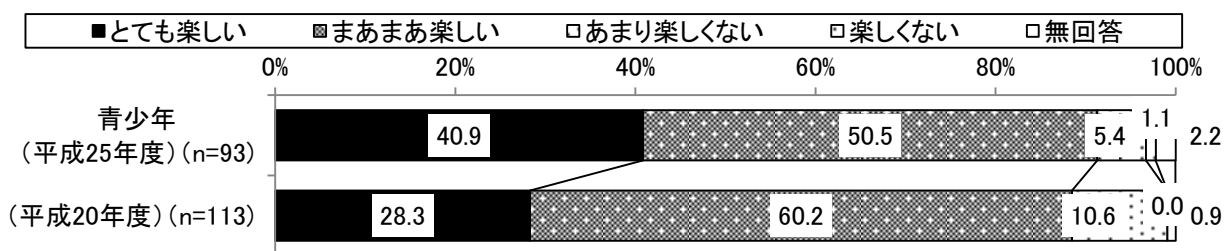
<中学生・青少年>

- ◆ 毎日の生活が「とても楽しい」と回答した人は、中学生本人で41.7%、青少年で40.9%となっており、前回調査と比較して増えています。

図表 29 毎日の楽しさ（中学生本人）＜経年比較＞



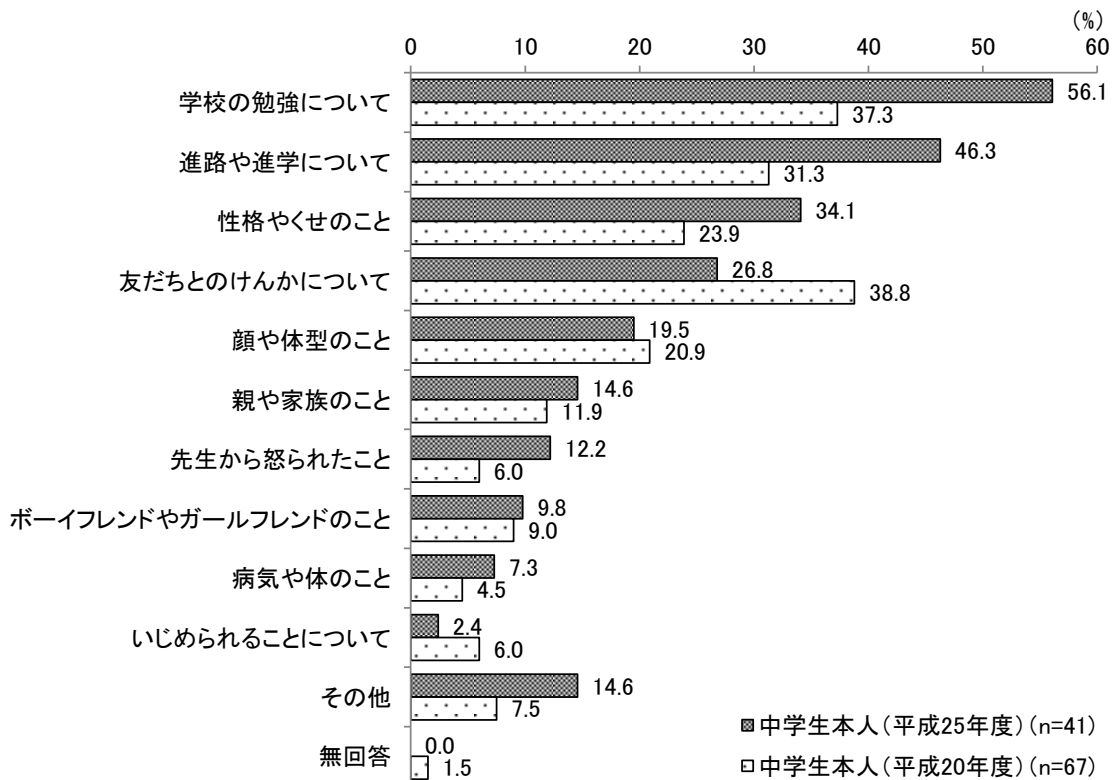
図表 30 毎日の楽しさ（青少年）＜経年比較＞



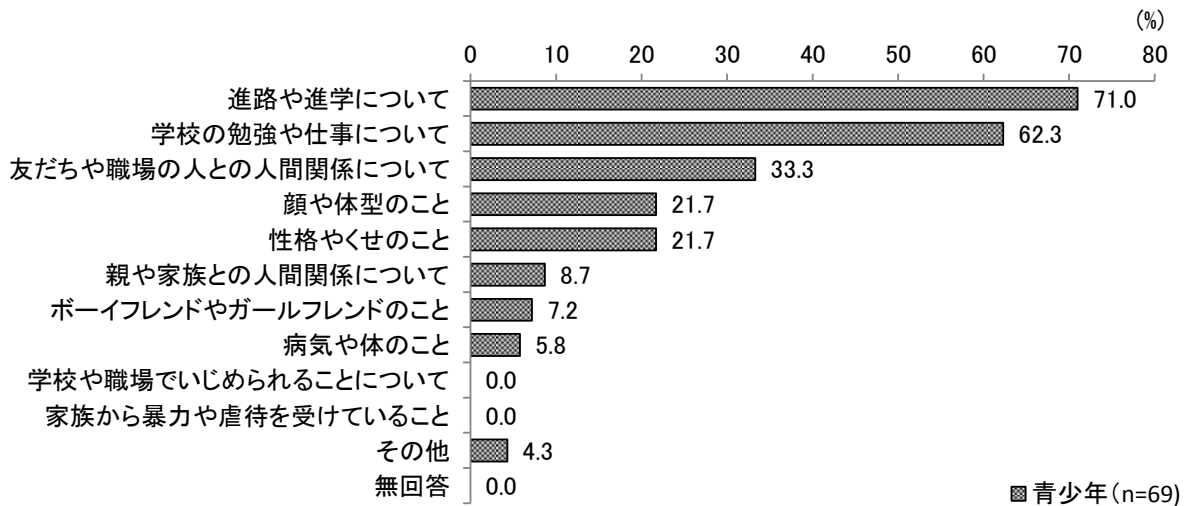


- ◆ 悩みごとは、中学生本人では「学校の勉強について」が56.1%で最も多く、次いで「進路や進学について」(46.3%)、「性格やくせのこと」(34.1%)となっています。前回調査と比較すると、前回最も多かった「友だちとのけんかについて」は、今回調査では4番目に多い項目となっています。
- ◆ 青少年では「進路や進学について」が71.0%で最も多く、次いで「学校の勉強や仕事について」(62.3%)、「友だちや職場の人との人間関係について」(33.3%)となっています。

図表 31 悩みごと（中学生本人）



図表 32 悩みごと（青少年）

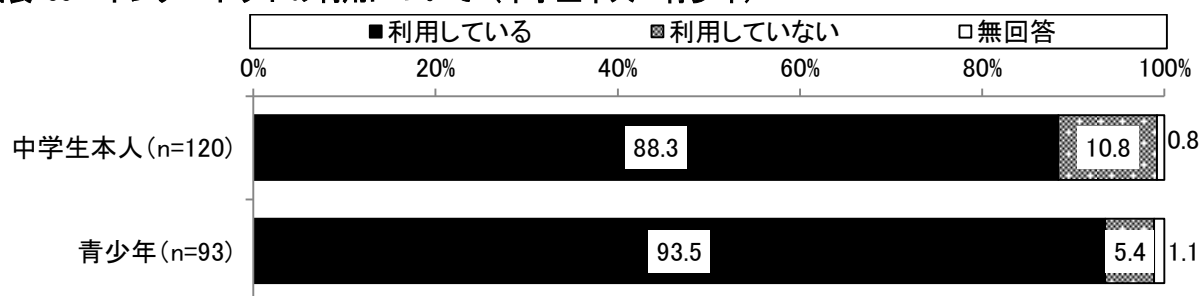


### 3 インターネット等の利用について

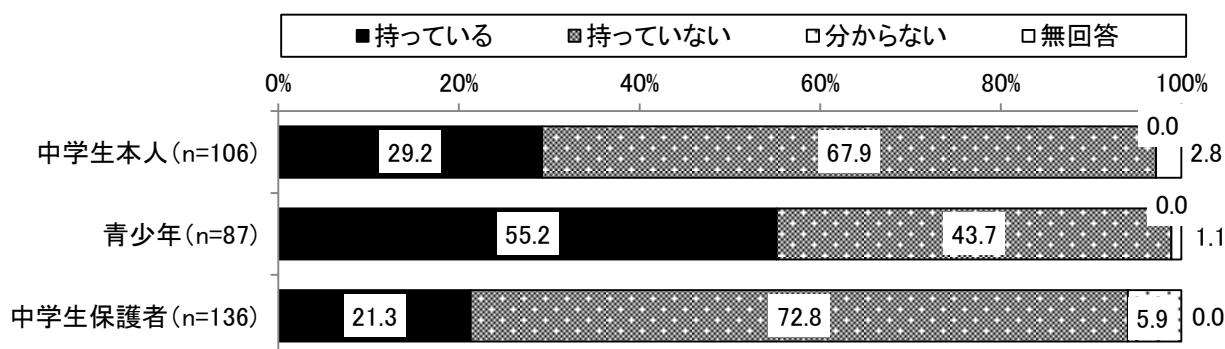
<中学生・青少年>

- ◆ インターネットを「利用している」は、中学生本人で 88.3%、青少年で 93.5%となっています。
- ◆ 自分のブログやプロフ、ホームページやSNSのアカウントを「持っている」は中学生本人で 29.2%、青少年で 55.2%となっています。一方、ブログやプロフ、ホームページやSNSのアカウントを「持っている」と思っている中学生保護者は 21.3%となっています。

図表 33 インターネットの利用について（中学生本人・青少年）



図表 34 自分のブログやプロフ、ホームページやSNSのアカウントの所有状況（中学生本人・青少年・中学生保護者）

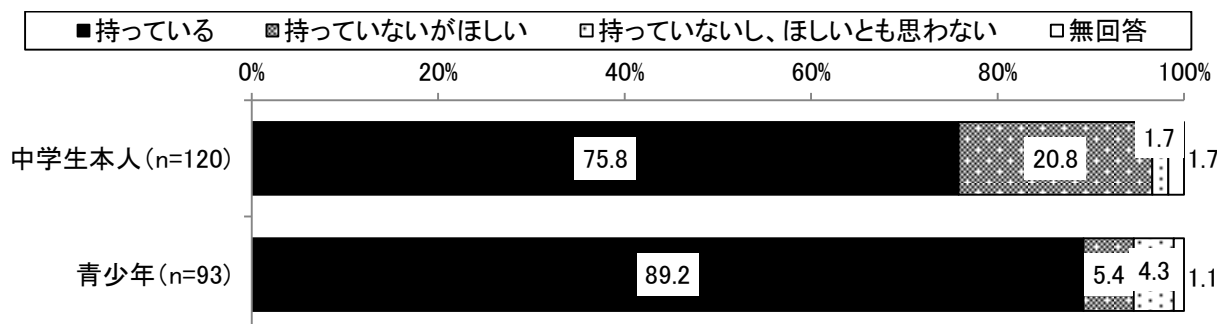


### 4 自分専用の携帯電話やスマートフォンの所有状況

<中学生・青少年>

- ◆ 自分専用の携帯電話やスマートフォンを「持っている」は、中学生本人で 75.8%、青少年で 89.2%となっています。また、中学生本人では「持っていないがほしい」が 20.8%となっています。

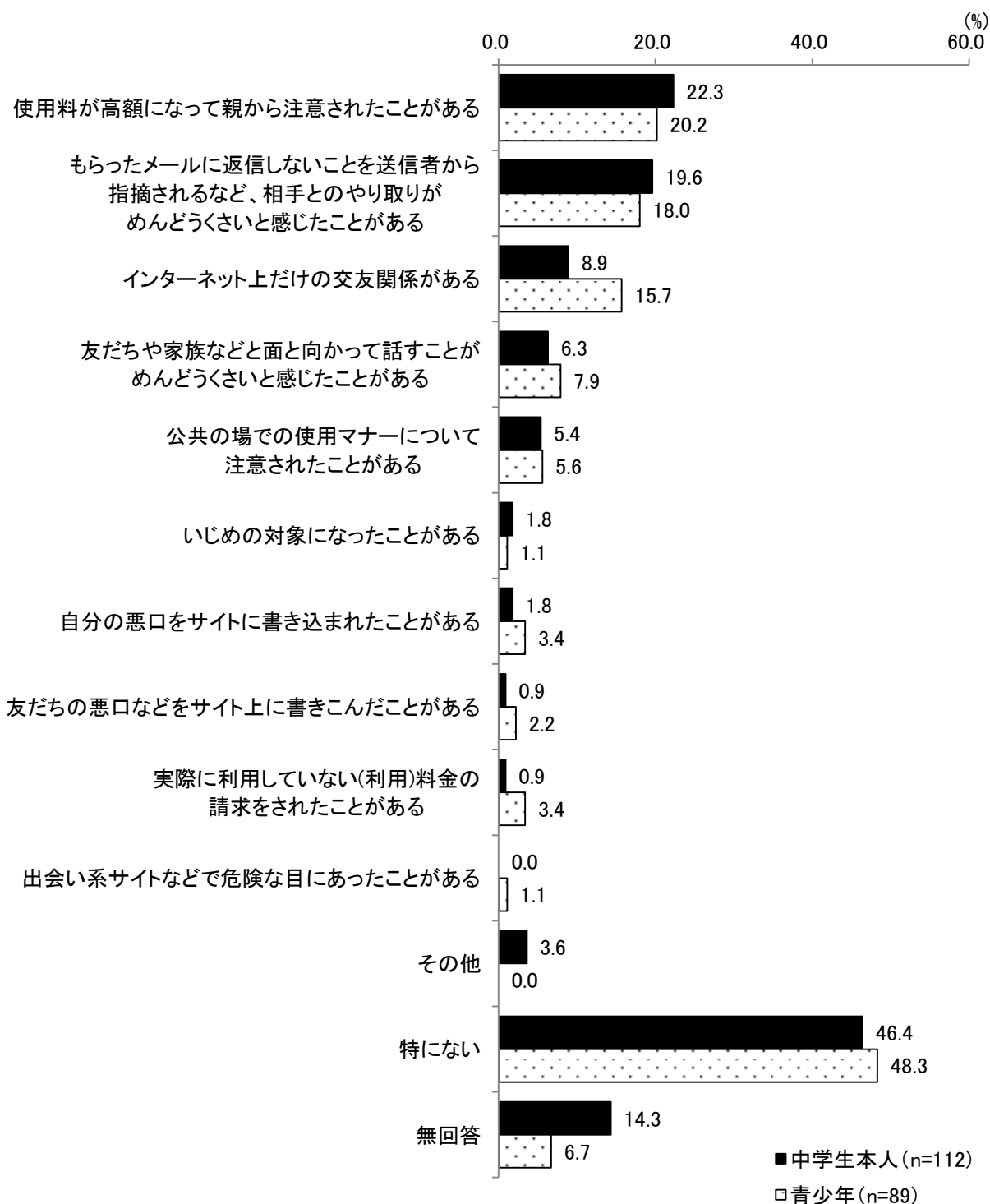
図表 35 自分専用の携帯電話やスマートフォンの所有状況（中学生本人・青少年）



5 パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機器等の使用について困ったこと <中学生・青少年>

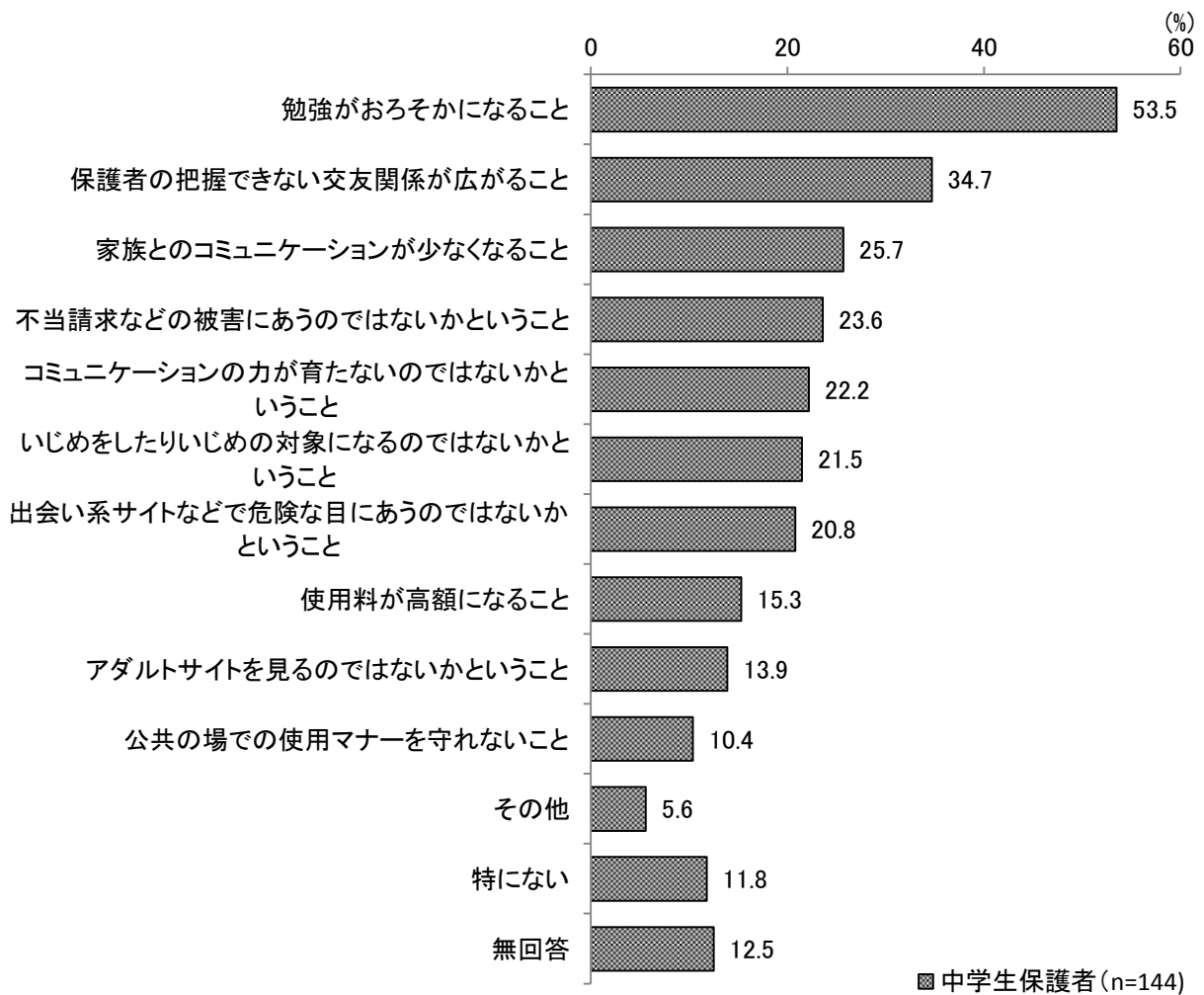
- ◆ パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機器等の使用について困ったことは、中学生本人、青少年ともに「使用料が高額になって親から注意されたことがある」が最も多く、次いで「もらったメールに返信しないことを送信者から指摘されるなど、相手とのやり取りがめんどくさいと感じたことがある」の順に割合が高くなっています。

図表 36 パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機器等の使用について困ったこと（中学生本人・青少年）



- ◆ 中学生保護者のパソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機器等の使用について困ったことは、「勉強がおろそかになること」が53.5%で最も多く、次いで「保護者の把握できない交友関係が広がること」(34.7%)、「家族とのコミュニケーションが少なくなること」(25.7%)となっています。

図表 37 子どものパソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機器等の使用について困ったこと (中学生保護者)



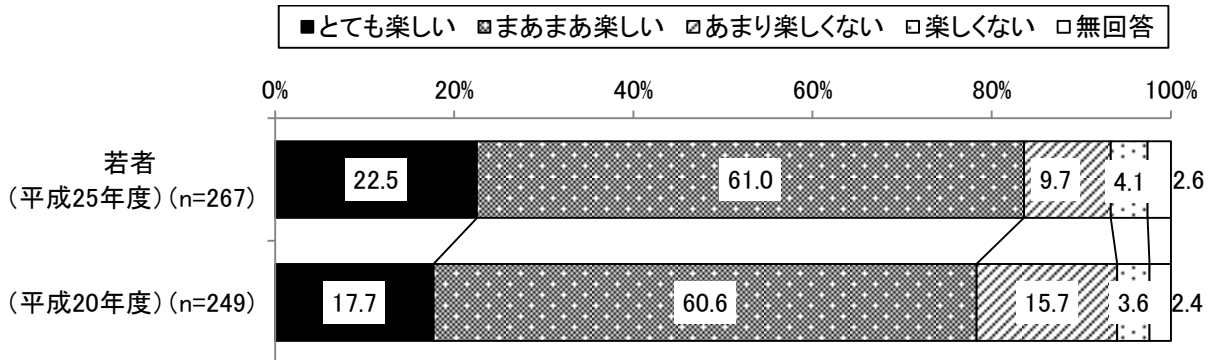
## 若者の調査結果

### 1 毎日の楽しさ

<若者>

◆ 毎日の生活が「とても楽しい」と回答した人は、22.5%で、前回調査と比較して増えています。

図表 38 毎日の楽しさ（若者）

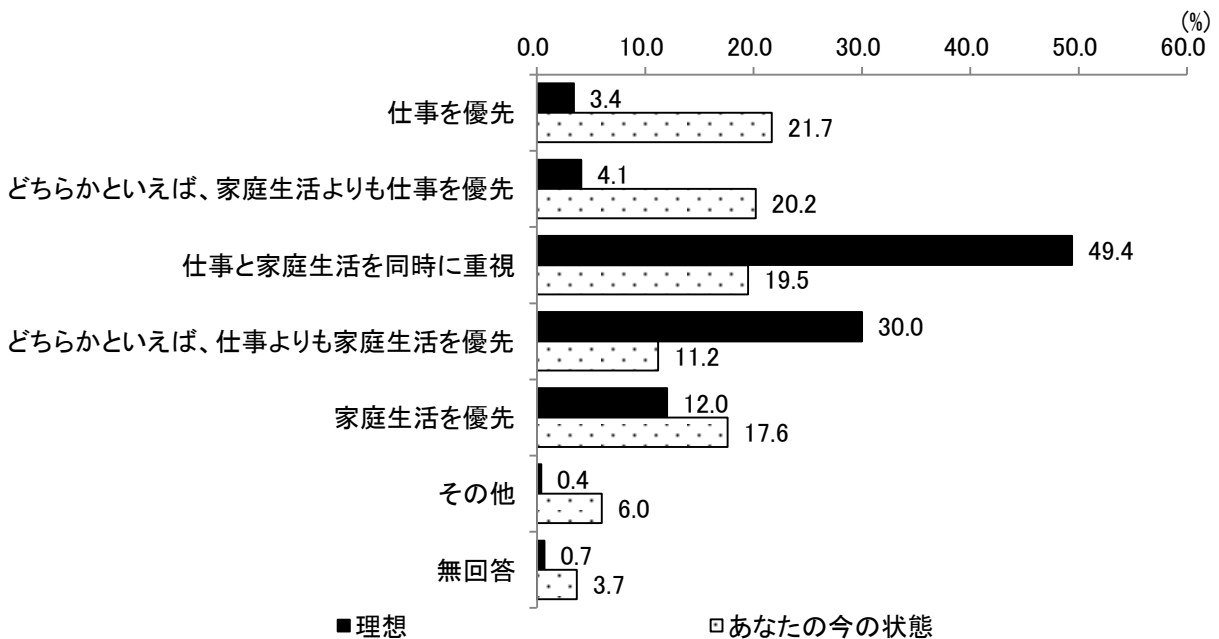


### 2 仕事と生活のバランス

<若者>

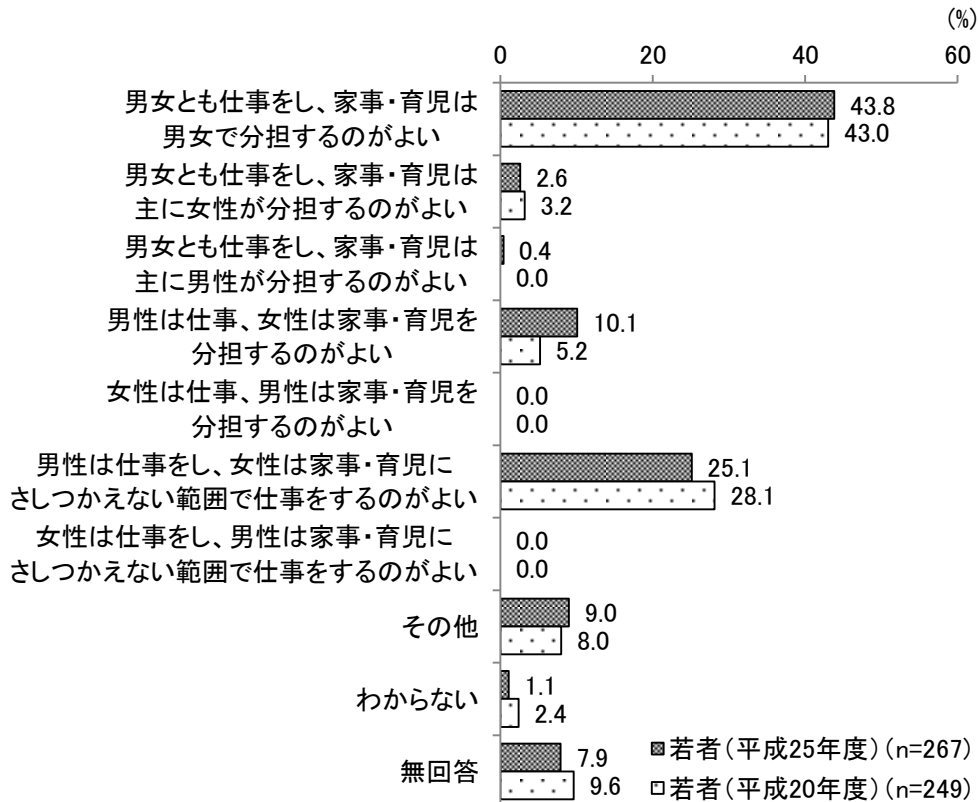
◆ 仕事と生活のバランスについては、「仕事と家庭生活を同時に重視」したいという理想を描いている人が 49.4%で最も多くなっていますが、現在の状態では「仕事を優先」している人が 21.7%で最も多くなっています。

図表 39 仕事と生活のバランス（若者）



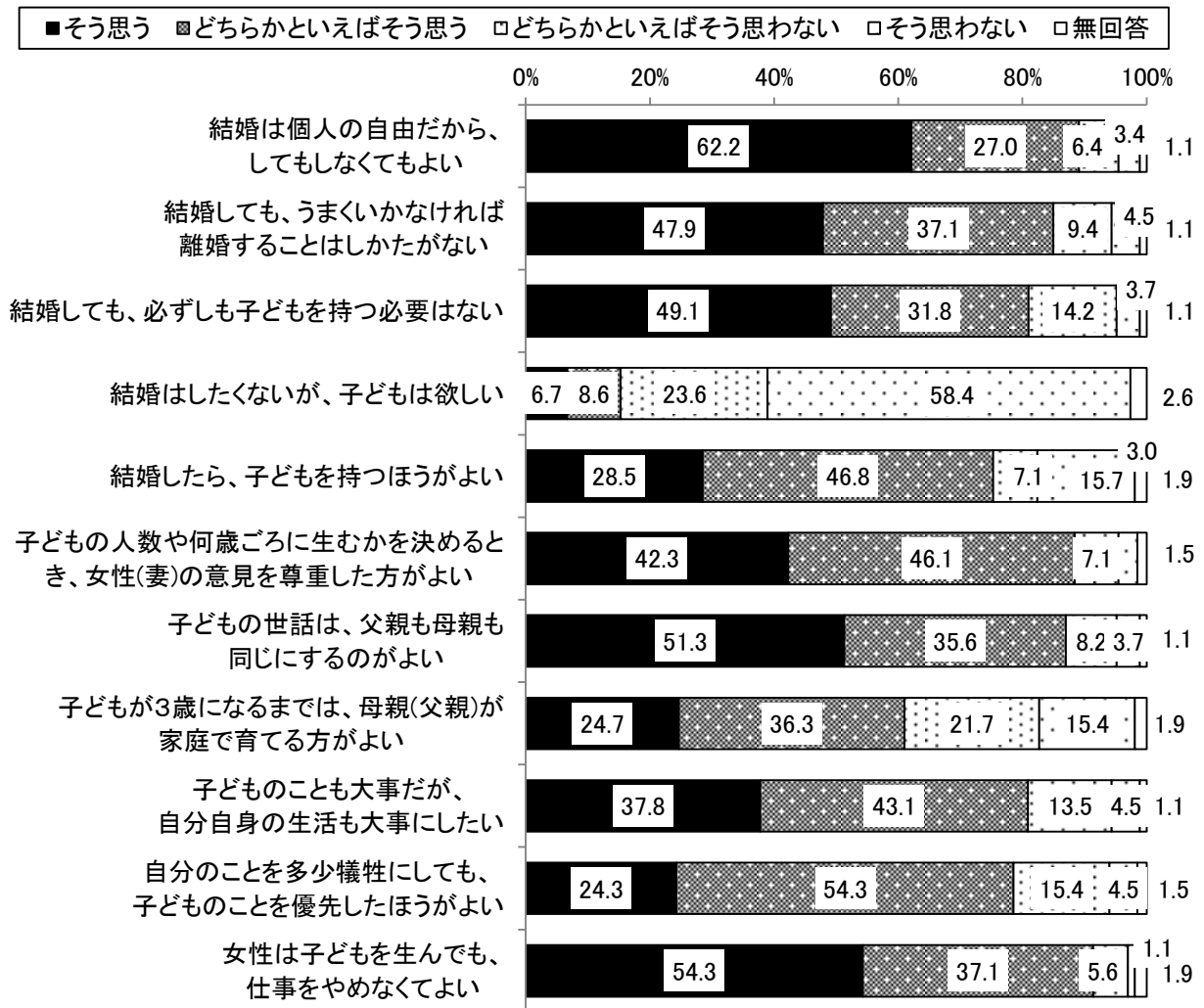
- ◆ 家庭での男女の役割分担については、「男女とも仕事をし、家事・育児は男女で分担するのがよい」が43.8%で最も多く、次いで「男性は仕事をし、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をするのがよい」(25.1%)、「男性は仕事、女性は家事・育児を分担するのがよい」(10.1%)となっています。

図表 40 家庭での男女の役割分担について（若者）



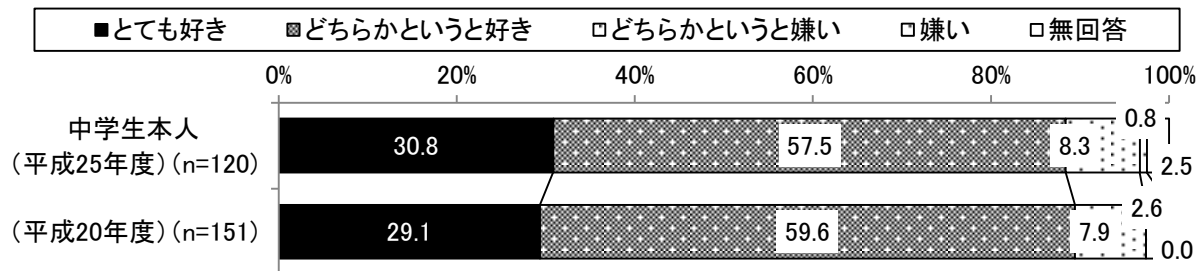
- ◆ 結婚や子育てについて、ほとんどの項目で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が多くなっていますが、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」では「そう思わない」が最も多くなっています。

図表 41 結婚や子育てに関する考え方（若者）

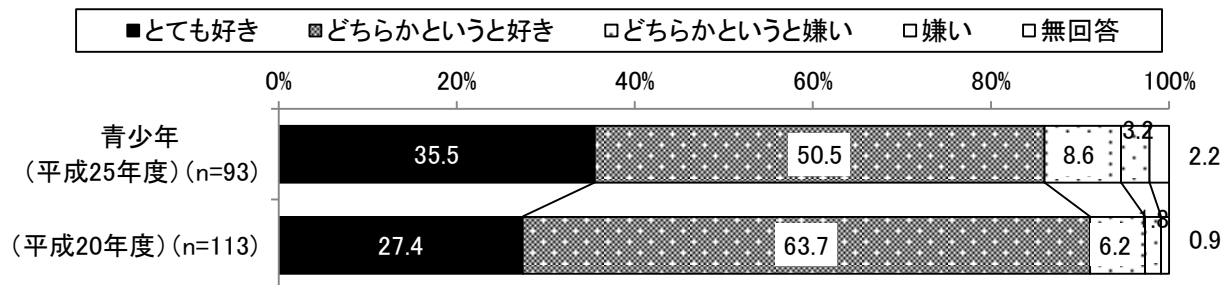


- ◆ 新宿区への愛着度については、「とても好き」は、中学生本人で 30.8%、青少年で 35.5%、若者で 27.7%となっており、前回調査と比較して、中学生本人と青少年で増えています。

図表 42 新宿区への愛着度（中学生本人）〈経年比較〉



図表 43 新宿区への愛着度（青少年）〈経年比較〉



図表 44 新宿区への愛着度（若者）〈経年比較〉

